

令和7年度第四回当別町新庁舎建設検討委員会報告書

- 1 日 時 令和7年11月12日（水） 10：00～11：00
- 2 場 所 役場第二庁舎
- 3 出席者
- (出席委員) 高橋委員長、和田副委員長、川村委員、下段委員、石田委員、
袴田委員、小貫委員、今堀委員
- (町及び事務局)
- 【事務局】 長谷川企画部参与、遊佐事業推進課長
事業推進課 米内主幹、有澤主事
- 4 傍聴者 1名
- 5 会議概要
- 開会後、次第により、次のとおり委員会を取り進めた。
- ・委員長挨拶
 - ・議 事
 - ・質 疑
- 委 員：資料の中で、議場は天井高であることから4階に設置するとあるが、天井高
ではない議場も他市町村で見られる。わざわざ天井高にしなくてもいいのでは
ないかと思った。テナントについては、人が集まるようなものを作れれば
良いと思う。
- 質問になるが、郷土資料館の中は現在どうなっているのか。
- 事 務 局：郷土資料館については、中に収蔵物がある状態で閉めている状態です。
- 委 員：解体するとなると、中に入っている収蔵物はどうなるのか。
- 事 務 局：収蔵物については、一旦旧当別小学校に避難させるなどを考えていますが、
新庁舎の中に展示スペースを設けたりして、当別町の歴史が見えるような形
にはしたいと考えています。そこの取扱いについては今後も検討を続けてい
きたいと思います。
- 委 員：昔の文献や資料はデジタル化が難しく、保管する場所が必要になると思う。
もしも新庁舎の中に、そういう文献や資料を見ることが可能で、勉強など
ができるようなスペースがあれば良いと思った。
- 事 務 局：庁舎の話からは外れますが、文化財については一般的に図書館に保管される
ものですから、今後図書館を整備するとなった場合にそういう議論がなさ
れるのではないかと思います。
- また、フロア構成イメージ案については、あくまでも一般的な考え方を提示

するものです。議場のお話が先ほど出ましたが、一般的には議場は、町民の利用の頻度の観点から、最上階に配置されることが多いです。議場や文化ホール、テナント等の配置については、議会等で様々な意見を聞きながら、今後も検討してまいります。

委 員：庁舎の階数については、4階建てにこだわらず検討していただきたい。
加えて、建築費について町民への説明が必要になると思う。住民負担について気になる人もいるだろうし、そこは説明できるようにしておくべき。

委 員 長：議場を他の用途に使うことは想定しているのか。

事 務 局：議場のそいつた仕組みについては、議会側と検討を行っています。他の自治体を見ると、議場を多目的に使用しているところも増えてきており、会議室として使用したり、防災備蓄品を保管する場所にするなどといった使い方が見られます。

委 員：現在、費用面でいうと、非常に先行きが不透明な状態であると思う。費用がかさみ、最初のイメージとは異なる作りになることも考えられるので、イメージ案は理想的な庁舎でもいいが、費用が想定以上に高額となった際に何を削るのか、何を優先するのかについてはしっかりと議論したほうが良い。

委 員：働く人に喜んでもらえて、町民にとっても誇れるような庁舎になればと思う。

委 員：正直、こんなにも建設に時間がかかるとは思っていなかった。少しでも、早く庁舎ができればと思う。

委 員：これまで検討してきたことを踏まえ、議会でもさらに検討を重ねていただき、町のため、町民のためになるような新庁舎ができればよいと思ってい

る。

委 員 長：事務局より説明のあった、当別町新庁舎建設基本構想の案について、異議なしということでおろしいでしょうか。

(委員全体)：異議なし。

事 務 局：今後の流れとしては、12月にパブリックコメント、住民説明会を行い、年明けに検討委員会及び特別委員会を開催して基本構想を策定したいと考えております。

委 員 長：他にご意見、ご質問等ありませんか。

本日は、新庁舎建設基本構想の案について、事務局より説明がありました。引き続き、委員の皆様のご協力をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

・その他

事務局より、次回の委員会を1月中に開催する旨、連絡した。
資料も事前にお示しできるような形で調整する旨、連絡した。

以上